

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY 大倉山校		公表日		2025年 2月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	個別療育用の部屋と集団療育用の部屋を分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		基準は満足しているが、今後は職員数の余裕が必要になってくる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	極力バリアフリーになっている。過大な刺激にならないよう、なるべく掲示物を無くしている。 玩具を子どもが自分で選ぶことができるよう、玩具ボックスに写真を貼ることを工夫しました。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	換気、消毒、室内清掃を徹底しています。また、教具や玩具の整理整頓を心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎朝カリキュラムミーティングを実施し、各児童の目標と振り返りを確認している。 改善点が相談できる環境にある。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎年保護者向け評価に対する業務改善を検討している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎朝のカリキュラムミーティング、毎月の校ミーティングで職員の意見を把握し、業務改善するよう努力している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	研修カリキュラムが充実しており、療育に関する知見を深め、実践しています。また、指導員間で互いの療育を見学し合うことにより、療育実践の学び合いを行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	保護者様との個別支援計画に関わる面談を適切に行っております。個別支援計画の達成状況をお子さまのモニタリング表を通して、わかりやすくお伝えすることができるよう工夫しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	支援会議を実施し、児発管が作成した支援計画原紙を職員でチェックし、職員の意見も反映して支援計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援会議で共有をしていつでも見られるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	支援記録に記録し、翌朝のミーティングでその記録に基づいて話をしている。また、誰がいつ、どのカリキュラムを実施したかのカリキュラム実施表も作成し利用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	毎朝のミーティングでチームでカリキュラムを立案している。カリキュラムが偏らないよう、また担当者が偏らないよう配慮している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	カリキュラム実施表及び支援記録を見ながら固定化しないよう工夫している。 季節のプログラム、自分の好きなものについて話して楽しむプログラムなどを取り入れています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別と集団両方を実施できるよう計画している。		

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	マニュアルを整備。防災、火災訓練を実施。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		一部の内容については、マンスリーレポートで周知しているが今後さらなる周知が必要。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットを作成し、毎月の校ミーティングで情報共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		